

第22回 観てさわって 科学, 体験 2015 フェスティバルの参加報告

フェスティバル参加委員会

委員長	黒河 久悦 (電気電子・情報系技術班)
副委員長	岡野 聡 (化学・材料系技術班)
委員	政岡 孝 (実習工場技術班)
委員	重松 和恵 (機械・環境建設系技術班)
委員	目島 由紀子 (自然科学系技術班)

1. はじめに

「第22回 観てさわって 科学, 体験 2015 フェスティバル」が11月14, 15日の2日間にわたり開催されました。この催しは、大学が地域社会と連携し、子供たちを中心に自然科学やものづくりの楽しさを通して科学に興味を持ってもらうことを目的とし、科学・技術のおもしろさを体験してもらうもので、工学部と理学部が主催し四国電力株式会社の共催、愛媛県教育委員会、松山市教育委員会等の後援などを受けて実施されています。工学部等技術部では、ジャイロの教材を使い体感するとともに飛行遊具を製作しジャイロ効果を考えることをテーマに「ジャイロって何ジャイロ？」で参加しました。

2. 実施状況について

今年も、昨年同様に、工学部講義棟の2階EL22を会場として行われました。初日は雨空のため、来場者の出足も鈍いスタートでしたが、2日目は天候に恵まれ1日目230人、2日目300人もたくさんの方に来場いただきました。今回は、テーマを一新して子供たちの関心を得られるように、パネルや的をリニューアルしました。又、子供たちは熱心に、教材でジャイロ効果を体感していました。飛行遊具は、翼の形や大きさ、重心などいろいろ工夫してジャイロ効果で真っ直ぐ飛ぶことを学んでいました。又今回は、スタッフの休憩を設け皆様の応援もあって大盛況で無事終えることができました。

3. おわりに

この科学体験フェスティバルに参加するにあたり、ご支援いただきました科学体験フェスティバル実行委員会、工学部総務チーム、工学部等技術部 技術長 副技術長及び技術職員各位に厚くお礼申し上げます。



体感コーナー



製作及び飛行コーナー

写真 会場風景